平成26年３月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年２月12日

上場会社名　株式会社　ムサシ　　上場取引所　東
コード番号　7521　ＵＲＬ　http://www.musashinet.co.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）羽鳥　雅孝
問合せ先責任者　（役職名）常務取締役財務部長　（氏名）青坂　修司　ＴＥＬ　03-3546-7710

四半期報告書提出予定日　平成26年２月13日　配当支払開始予定日　－
四半期決算補足説明資料作成の有無：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

１．平成26年３月期第３四半期の連結業績（平成25年４月１日～平成25年12月31日）

（１）連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年３月期第３四半期	26,457	△2.3	1,038	53.2	1,107	33.8	600	186.1
25年３月期第３四半期	27,070	△3.0	677	16.0	827	24.6	210	△29.0

（注）包括利益　26年３月期第３四半期　802百万円（221.6%）　25年３月期第３四半期　249百万円（△15.0%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年３月期第３四半期	78.96	－
25年３月期第３四半期	26.44	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年３月期第３四半期	37,961	24,508	64.6
25年３月期	40,254	24,544	61.0

（参考）自己資本　26年３月期第３四半期　24,508百万円　25年３月期　24,544百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年３月期	－	10.00	－	20.00	30.00
26年３月期	－	15.00	－		
26年３月期（予想）				10.00	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：　無

３．平成26年３月期の連結業績予想（平成25年４月１日～平成26年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,883	0.1	1,451	△9.5	1,526	△15.1	903	12.7	119.31

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年３月期３Ｑ	7,950,000株	25年３月期	7,950,000株
②　期末自己株式数	26年３月期３Ｑ	506,413株	25年３月期	6,398株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年３月期３Ｑ	7,610,267株	25年３月期３Ｑ	7,943,778株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料Ｐ．２「１．当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 2
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（セグメント情報等） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安や株価上昇を背景に企業収益や雇用環境が改善し、設備投資にも持ち直しの動きが見られるなど景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、新興国経済の成長鈍化や欧州経済の低迷など、海外の不安定な経済情勢が国内景気の下押しリスクとなっている状況に変化は無く、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループの各事業の概況は以下の通りであります。

（情報・印刷・産業システム機材）

情報システム機材は、文書のデジタル化業務の受注が、第３四半期で回復基調に転じたものの、全般的には顧客の投資抑制や単価下落などの影響を受けたほか、大口の受注が減少し落ち込みました。また、スキャナーなどドキュメントの電子化機器の販売も高額商品を中心に減少しました。

印刷システム機材は、印刷需要の低迷が続く中、印刷材料の販売は概ね順調に推移しましたが、顧客の設備投資の冷え込みにより印刷機器の販売が落ち込んだため、若干低調に推移いたしました。

（金融汎用・選挙システム機材）

金融汎用システム機材は、全般的には金融機関において機器の更新需要低迷の影響を受けましたが、一部の貨幣処理機器やセキュリティ機器の販売に伸長が見られたため、概ね順調に推移いたしました。

選挙システム機材は、昨年実施された参議院選挙のほか、各地方選挙向けに各種機材・システムの販売が順調に推移いたしました。

（紙・紙加工品）

紙・紙加工品は、医薬品・化粧品向けの高級紙器用板紙の販売は若干落ち込んだものの、広告媒体向けの印刷用紙や感熱記録紙などの情報用紙の販売が伸長したため、概ね順調に推移いたしました。

（不動産賃貸・リース事業等）

不動産賃貸業、リース事業等は堅調に推移いたしました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の業績は、売上高264億57百万円（前年同四半期比2.3％減）、営業利益10億38百万円（前年同四半期比53.2％増）、経常利益11億７百万円（前年同四半期比33.8％増）、四半期純利益６億円（前年同四半期比186.1％増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における流動資産は276億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億89百万円減少いたしました。減少の主な要因は、現金及び預金の減少（12億88百万円）、受取手形及び売掛金の減少（12億72百万円）であります。固定資産は103億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億96百万円増加いたしました。増加の主な要因は、投資有価証券の増加（３億６百万円）、減少の主な要因は、有形固定資産の減少（92百万円）であります。

この結果、総資産は、379億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億93百万円減少いたしました。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における流動負債は114億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億15百万円減少いたしました。減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少（15億45百万円）、未払法人税等の減少（３億83百万円）及び賞与引当金の減少（１億92百万円）であります。固定負債は19億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ１億41百万円減少いたしました。減少の主な要因は、固定負債の「その他」の減少（１億13百万円）であります。

この結果、負債合計は、134億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億57百万円減少いたしました。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は245億８百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少いたしました。減少の主な要因は、剰余金の配当２億70百万円及び自己株式の取得（５億68百万円）、増加の主な要因は、四半期純利益６億円及びその他有価証券評価差額金の増加（２億１百万円）によるものであります。

この結果、自己資本比率は64.6％（前連結会計年度末は61.0％）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年11月12日付「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想の変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,935	15,647
受取手形及び売掛金	10,436	9,163
商品及び製品	1,394	1,623
仕掛品	55	124
原材料及び貯蔵品	578	448
その他	736	634
貸倒引当金	△28	△23
流動資産合計	30,108	27,618
固定資産		
有形固定資産	3,529	3,437
無形固定資産	97	96
投資その他の資産	6,518	6,809
固定資産合計	10,145	10,342
資産合計	40,254	37,961
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,225	6,679
短期借入金	3,512	3,521
未払法人税等	459	76
賞与引当金	386	194
製品保証引当金	45	－
受注損失引当金	34	6
その他	906	976
流動負債合計	13,569	11,454
固定負債		
退職給付引当金	201	197
役員退職慰労引当金	934	910
その他	1,003	890
固定負債合計	2,139	1,998
負債合計	15,709	13,452
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,208	1,208
資本剰余金	2,005	2,005
利益剰余金	21,061	21,391
自己株式	△8	△576
株主資本合計	24,266	24,028
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	278	479
その他の包括利益累計額合計	278	479
純資産合計	24,544	24,508
負債純資産合計	40,254	37,961

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	27,070	26,457
売上原価	21,526	20,715
売上総利益	5,544	5,742
販売費及び一般管理費	4,866	4,704
営業利益	677	1,038
営業外収益		
受取利息	34	29
受取配当金	41	47
保険解約返戻金	60	－
貸倒引当金戻入額	5	2
その他	65	47
営業外収益合計	207	126
営業外費用		
支払利息	29	28
持分法による投資損失	24	6
自己株式取得費用	－	22
その他	3	0
営業外費用合計	57	58
経常利益	827	1,107
特別利益		
固定資産売却益	1	－
特別利益合計	1	－
特別損失		
固定資産除却損	1	12
投資有価証券売却損	1	－
投資有価証券評価損	42	－
会員権売却損	1	0
会員権評価損	7	－
減損損失	247	－
特別損失合計	300	12
税金等調整前四半期純利益	528	1,094
法人税、住民税及び事業税	204	278
法人税等調整額	114	215
法人税等合計	318	493
少数株主損益調整前四半期純利益	210	600
四半期純利益	210	600

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	210	600
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	201
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	0
その他の包括利益合計	39	201
四半期包括利益	249	802
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	249	802

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	不動産賃貸・リース事業等	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,559	4,544	4,791	175	27,070	－	27,070
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	－	－	191	196	△196	－
計	17,564	4,544	4,791	366	27,266	△196	27,070
セグメント利益	41	489	12	131	675	2	677

（注）１．　セグメント間取引消去であります。

２．　セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「不動産賃貸・リース事業等」セグメントにおいて賃貸駐車場（土地）について、地価の下落により減損の兆候が認められたため、当該土地に係る回収可能性を検討した結果、当第３四半期連結累計期間において減損損失を特別損失として247百万円計上しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成25年４月１日　至平成25年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	情報・印刷・産業システム機材	金融汎用・選挙システム機材	紙・紙加工品	不動産賃貸・リース事業等（注）３	合計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	16,561	4,998	4,730	167	26,457	－	26,457
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4	－	－	190	195	△195	－
計	16,566	4,998	4,730	357	26,653	△195	26,457
セグメント利益又は損失（△）	△20	934	5	116	1,035	2	1,038

（注）１．　セグメント間取引消去であります。

２．　セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．　第１四半期連結会計期間より、「その他」と表示していた報告セグメントは、その主要な事業内容を明示するため「不動産賃貸・リース事業等」に変更いたしました。
なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。
これに伴い、前第３四半期連結累計期間につきましても、当第３四半期連結累計期間と同様に「不動産賃貸・リース事業等」と記載しております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。